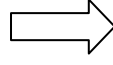


「みんなでめざす10年後の姿」

実現するための具体的な方針

1 だれもが気軽に参加できる場所があり、安心してくらすことができる

だれもが気軽に参加できる居場所があり、それぞれがつながり、支え合うことで、安心してくらすことができる。

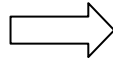


1 「だれもが気軽に参加できる場所があり、安心してくらすことができる」姿の実現を目指して

- ① くらししていくうえで気軽に集える居場所があると、ふれあい、話し合う機会が増え、地域の中の「他人」が「他人」ではなくなり、くらしの質も豊かになります。そんな**居場所づくりを進めます**。
- ② 地域にくらす人々の絆が深まり、お互いが少しずつ気を配り合えば、例えば、一人ぐらしのお年寄りや、子どもたちの遊びや通学も安心が増します。**地域で見守り、支え合えるまちづくりを進めます**。
- ③ 万が一災害が起こったとき、行政にできることには限界があります。やはり頼りになるのはご近所の助け合い。市の防災計画の見直しも踏まえ、**地域の防災力を高めるまちづくりを進めます**。

2 地域の課題に主体的に取り組める多様なコミュニティができています

地域のさまざまな課題に対して、住民が関心をもって参加し、自立して、関係機関と連携しながら主体的に取り組める多様なコミュニティができています。また、京都の特色である学校を中心としたコミュニティも活発な取組を行っている。

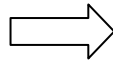


2 「地域の課題に主体的に取り組める多様なコミュニティができています」姿の実現を目指して

- ① 自治会・町内会などの地域の団体に、多くの住民が参加すれば、地域の自治力・自立力が高まり、よりくらしやすいまちにしていくことができます。**地域の活動に、より多くの住民が積極的に参加する、みんなが主役のまちづくりを進めます**。
- ② 子育てや福祉など、さまざまな目的で思いを同じくするなかまが集まり、活動を始めれば、くらしの中の課題を、自分たちの力で解決することにもつながります。そんなくらしの質を向上させる、**市民のさまざまな自主的活動を支援していきます**。
- ③ 地域の未来の担い手を育てるためには、子どものときから地域になじみ、学ぶことが大切です。幼稚園、保育所、小・中学校などと連携し、**地域のみんなで子どもを共に育むまちづくりを進めます**。

3 自分たちの地域の課題を把握し、解決に取り組んでいる

それぞれのコミュニティが、環境や子育て、青少年の育成など、自分たちの地域の課題を把握し、解決に向けて取り組んでいる。

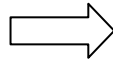


3 「自分たちの地域の課題を把握し、解決に取り組んでいる」姿の実現を目指して

- ① 地域の良いところ、足りないところをみんなが知ることが、愛着を持てるまちづくりへの第一歩。みんなが自分たちの地域に気付き、良いところを伸ばし、足りないところを補うために行動を始める、**自ら気づき、行動するまちづくりを支援します**。
- ② 地域のみならずより良いまちづくりをしていくためには、他の地域の活動事例を知り、お手本にすることも効果的。そういった情報をわかりやすく提供していくなど、**より良い地域の実現に向けた知恵の共有を支援します**。

4 地域コミュニティと行政とのパートナーシップが深化している

地域コミュニティが身近な課題の解決に向けて主体的に取り組んでおり、まちづくり支援のために整備された行政組織が支援するかたちで、地域コミュニティと行政とのパートナーシップが深化している。

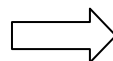


4 「地域コミュニティと行政とのパートナーシップが深化している」姿の実現を目指して

- ① まちづくりは、自治会・町内会などによる、日頃からの地域での自主的な活動を基盤に、学区自治連合会等の地域自治を担う住民組織と行政がともに連携して取り組むことが大切です。そのために、自治会・町内会等の実情の把握や、京都市の施策等のわかりやすい提供に努め、**お互いの顔が見えるまちづくりを進めます**。
- ② 自治会・町内会などの活動は、悩みごとの相談先が見つかりにくいもの。地域コミュニティの活性化に係るさまざまな相談に対し、共に考え、必要な情報や助言をできるような体制を整備するなど、**地域と行政が共に歩むまちづくりを進めます**。

5 さまざまな分野の市民活動団体が地域コミュニティと連携して活動している

NPOやボランティア組織などさまざまな分野ごとの市民活動団体と町内会・自治会等の地域コミュニティが、それぞれの活動のニーズに基づいて役割を補完し合いながら、連携して活動している。



5 「さまざまな分野の市民活動団体が地域コミュニティと連携して活動している」姿の実現を目指して

- ① 地域を良くするために、それぞれの目的に応じて活動する団体が、地域の中に複数あります。快適でくらしやすい地域をつくる共通の目的のもとに、**地域のさまざまな団体等が連携し、行動するまちづくりを支援します**。
- ② 地域の中の課題について、考えたり、活動したりしている団体や個人は、地域の中だけにあるものではありません。地域をよりくらしやすくするための活動に、市民活動団体や大学等の研究機関などが手を携え、共に取り組むことができる、**つながりが広がるまちづくりを支援します**。